

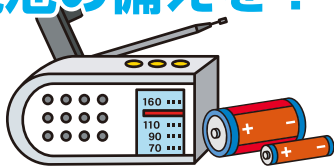
# 風水害

台風や豪雨などによる風水害は、対策によって最小限に止めることができるものです。気象情報には十分に注意して、早めの備えを心掛けましょう。

## 台風が接近！大雨が予想される場合

### 1 ラジオ、電池の備えを！

停電に備え、携帯ラジオ、電池の準備を。



### 3 早めの準備を！

避難に備えて非常持出品の準備を。



### 2 気象情報を聞く

気象情報を注意深く聞きましょう。また、村の防災広報無線放送などの呼びかけを聞きのがさないよう注意しましょう。



### 4 すみやかな行動を！

高齢者等避難や避難指示が出たらすみやかに行動を。特に河川の付近では注意。



### 風の強さと吹き方

平均風速 **15~20** m/s

風に向かって歩けない。転倒する人も出る。小枝が折れる。

平均風速 **20~25** m/s

しっかりと身体を確保しないと転倒する。窓ガラスが割れる恐れもある。

平均風速 **25~30** m/s

立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。



### 覚えておくと役に立つ雨の降り方

やや強い雨 [10~20 mm]

ザーザーと降る雨。地面一面に水たまりができ、雨の音で話し声が聞き取りづらくなります。

強い雨 [20~30 mm]

傘をさしていても濡れるほど土砂降りの雨。道路側溝や下水、小さな川が溢れたり、小規模の土砂崩れがおこります。

激しい雨 [30~50 mm]

バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、山崩れや崖崩れがおきやすくなります。危険地帯では避難の準備が必要になります。



非常に激しい雨 [50~80 mm]

滝のようにゴーゴーと降る雨。傘が全く役に立たなくなります。土石流や河川の氾らんをはじめ多くの災害が発生する恐れがあります。

猛烈な雨 [80 mm以上]

息苦しくなるような圧迫感、恐怖を感じる雨。雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要になります。



### テレビで気象情報・河川情報の確認を！

地上デジタルデータ放送で気象情報や河川情報が無料でいつでも確認できます。リモコンの【d】ボタンを押すことで、気象情報や河川情報など防災に役立つ身近な情報をご覧いただけます。

※河川情報はNHKのデータ放送でご確認ください。※お使いのリモコンにより【d】ボタンの位置は異なります。



## 土砂災害にも注意が必要です！

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場・消防署・警察署へ通報してください。



●雨が降り続けているのに川の水位が下がる



●川の流れが濁り流木が混ざりはじめる



●斜面から水がふき出す

※その他山鳴り、地面にひび割れなどの現象が考えられます。

### 逃げ方を覚えましょう



土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

## 停電

平成30年北海道胆振東部地震では、北海道内全域で約295万戸が停電しました。日頃から身の安全を確保するため、停電への備えを確認しておきましょう。

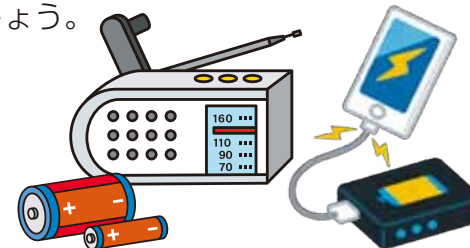
### 安全に行動するために

夜間に停電すると出口や床が見えにくく危険です。リビングや寝室などに懐中電灯や足元灯を備えましょう。足元灯の設置が難しい階段などには、蓄光テープを貼りましょう。



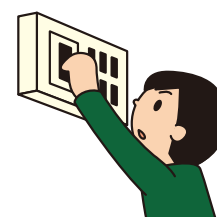
### 災害情報を確保するために

停電時は、テレビや携帯電話などが利用できない場合があります。携帯ラジオや予備の電池、モバイルバッテリーを準備しましょう。



### 電気火災を予防するために

停電が復旧したときの火災予防のため、停電時に自宅を離れるときはブレーカーを切りましょう。



### 安全に過ごすために

冬季の停電にも備えて、懐中電灯、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。ポータブルストーブは事前に使用方法を確認し、使用する場合は定期的に換気を行いましょ。

